

統計だより

初めての統計

長崎県県民生活環境部統計課 人口生活統計班 平石 康太郎

初めまして、4月から統計課に配属されました平石と申します。今年度から長崎県庁に入庁し、1年目の新人です。よろしくお願いいたします。

初めに、これまでの私についてお話をさせていただきます。私は福岡県で生まれ、0歳の時に長崎に移り住み、長崎で育ちました。幼稚園から高校まではずっとサッカー漬けの毎日を過ごし、中学2年生の時には全国3位という成績を出すことができました。もちろんその大会の試合には出ることができませんでした。高校卒業後、関西の大学に入学し、企業経済学とお笑いを学んできました。

企業経済学については、広告投資が企業価値に与える影響という研究テーマについて学び、お笑いについては、関西は言うまでもなくお笑いの聖地でありますし、私が住んでいた学生寮は毎年お笑い芸人が出ているという非常にお笑いに厳しい環境で4年間を過ごし、一発芸や漫才をさせられるなど厳しい鍛錬に耐え抜いてきました。

そして現在に至るのですが、配属されてから現在までを思い返してみると、当然ですが学生時代とは違い激動な1年だったなと感じております。今年度は例年と違い、去年から現在も流行している新型コロナウイルスの影響で、新人採用職員研修もなく4月1日から配属の部署で実際に業務を行うという流れでした。当時の私は右も左も分からず、ただ椅子に座り、資料を読み込むことだけしかできず、自分が情けなく、悔しい思いをしていたのを思い出します。せめて仲の良い同期がいればお互いの話ができたりするかもしれませんが、研修がなかったのですごく不安な毎日を過ごしておりました。それから1年が経とうとしていますがまだ未熟ですので、皆様のご指導を仰ぎながら一生懸命、統計課職員としての業務を全うしていきたいと考えています。

私は現在、国勢調査を担当しております。国勢調査とは5年に1度実施される日本で最も重要な統計調査であり、この結果は、国、県、市町の各種政策に利用される基本資料となります。この調査は、現在の国民の暮らし向きを知るためのものであり、日本に住む全ての方が対象の調査です。

しかし最も重要な統計調査と言われておりますが、実際どんなことに活用されているのかとあまり知られていないと思います。そこでこの結果を利用して、具体的にど

ういったことに利用されるのか、身近な例を2つほど紹介させていただきます。

一つ目は企業の出店計画です。どの地域にどのくらいの人口が集中しているのかがわかり、コンビニエンスストアやハンバーガーチェーン店など、最適な出店地選びのために活用されています。

二つ目に都市計画です。現在、長崎新幹線開通のため工事が進められていますが、このような都市交通計画にも基礎資料として国勢調査が使われております。

今回の国勢調査は新型コロナウイルスの影響で、調査実施にあたっては難しい面もありましたが、皆様のご協力のおかげで無事調査を終えることができました。ありがとうございました。

最後に、長崎県統計課では、本県出身であり近代統計の祖と称される杉亨二氏をモチーフとしたキャラクター「杉さん」を作成し、杉さんの着ぐるみを製作いたしました。ぜひこの機会に覚えていただけたら光栄です。ちなみに、私は実際に着ぐるみに入り、夏場に汗だくになりながらPRを行わせていただいております。私にとって「杉さん」は相棒と呼べるほどの愛着があります。今後もより一層PRをさせていただきますので、もし見かけた際は手を振っていただけますと大変うれしいです。

長崎県統計課キャラクター
日本近代統計の祖「杉さん」

